

農業、6次産業化、企業との連携、地産地消、荒廃農地対策、移住・定住、農福連携

## 酒米で農地再生と地域おこし

### 活動の経緯

令和3年度より、耕作放棄地を農地として維持し、農村機能を維持すべく、酒米を軸に、生産から販売、新たな担い手づくりへと魅力ある地域の再構築を目指す活動に取り組む。

### 活動の概要

耕作放棄地発生防止と地域産業活性化に向けた酒米の作付推進、需給調整、商品開発、販売促進、担い手育成を推進。



耕作放棄地の復元 ロータリーがけ



福祉会ほ場 地元農業者や協力隊が作付支援

### 活動の成果、主な実績等

○協議会を通じて、生産者と酒造会社間で酒米の生産数量について事前契約を実施することで、生産者の所得を保証する仕組みを構築した。

○酒米から作られる日本酒や酒米搗精粉を用いた商品開発を商工会や観光協会などと連携し実施。群馬県名誉県民で詩画家の星野富弘氏から、酒や甘酒のラベル詩画を提供。酒米の栽培面積は平成30年度の1.6haから令和4年度の7.3haへ拡大している。また、これまで開発した酒米搗精粉使用商品は、どらやき、石けん、甘酒、チーズケーキ風スイーツ等11種に及ぶ。

○活動を続ける中で、地域おこし協力隊員や地元の社会福祉法人が酒米栽培に参画し始め、農家と地域住民との関わりが深まりつつある。また、令和5年度から桐生市で移住促進事業のメニューとして、親子の酒米栽培体験を実施するなど、酒米づくりをきっかけに新たな担い手の活躍・掘り起こしが期待される。